

＜校務利用＞ ③現職研修（生成AIの研修）の内容・資料の生成

教員向けに生成AIの研修をしようと考え、その内容や資料、読み原稿などを提案してもらいました。質の高い内容にできるとともに、準備時間の短縮につながりました。

中学校の先生向けにBardを使った生成AIの研修をします。
時間は30分です。どのような内容がいいですか？

中学校の先生向けの生成AI研修の目的は、生成AIの基本的な理解と、授業や校務での活用方法を学ぶことです。そのため、30分の研修では、以下の内容を盛り込むとよいでしょう。

1. 生成AIの基礎知識

- ・ 生成AIとは何か
- ・ 生成AIの種類
- ・ 生成AIのメリットとデメリット

2. Bardの概要

- ・ Bardの特徴
- ・ Bardのできること
- ・ Bardの活用方法

3. 授業での活用方法

- ・ 発問や問題作成

実際の研修スライド

2. Bardを使った授業例：10分

次の課題をBardを使って解決しよう。

- ・ 日本の文化を紹介する英語のプレゼンテーションを作る
- ・ 英語で新聞記事を書く
- ・ 英語で詩を書く

英語のプレゼンテーションの準備をしよう。

- ・ プレゼンテーションの構成を考える
- ・ プレゼンテーションのスライドを作成する

次の単語の意味は？

- ・ introduce
- ・ communicate
- ・ understand

英語の小説について意見交換しよう。

- ・ 小説のテーマは何か
- ・ 小説の登場人物の性格はどのように描かれているか

研修の原稿

- ・ 生徒の理解度や思考力を測るための発問や問題を作成することができます。
- ・ 例えば、以下のような発問や問題を作成することができます。
 - 「次の文章の要約を、200字以内で書いてください。」
 - 「次の文章の中の誤りを1つ見つけ、訂正してください。」
 - 「次の文章を、別の視点から書き直してください。」